

平成28年度(2016年度)

管理事業名	水路事業				総合計画の 体系	第5章 第2節	環境を守り育てるまちづくり 自然と共生するまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	8	土木費	(項)	3	水路費	(目)	2	水路維持費
部局名	下水道部	予算執行所属		水循環室						
予算大事業名 水路維持管理事業		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)水路費(目)水路総務費 水路総務事業 (款)土木費(項)水路費(目)水路総務費 河川親水環境事業 (款)土木費(項)水路費(目)水路新設改良費 水路新設改良事業								
事業の目的と概要 水路維持管理事業・水路総務事業 安全で快適な都市環境の改築のため、水路・排水管等の維持管理を行います。 水路新設改良事業 市内水路の一般水路・排水管等の治水機能確保のため改良工事を行います。 河川親水環境事業 河川管理者である大阪府との協働により、市内の河川を清掃して、河川環境の美化を図ります。										

I 事業の成果(実績)

指 標 名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成 果 指 標 の 定 義
水路等の清掃延長	m	11,432.00	10,625.00	10,059.00	水路等を清掃した延長
水路等の調査延長	m	144.00	550.00	425.00	水路等を調査した延長
水路等の改良延長	m	177.80	270.25	1.00	水路等を改良した延長
排水管渠等の整備延長	m	126.45	187.85	273.35	排水管渠を改築した延長
成 果 の 説 明	水路等の清掃を行うことにより、快適な生活環境の確保や、市民の安心・安全に寄与しました。				
	水路は点検による不良個所の改良工事を行いました。				
	排水管渠は、点検による不良個所について改築を行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	5,308	5,102	5,080	△22
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	270	204,544	751	△203,793
経常収入 小計(a)	5,578	209,646	5,831	△203,815
給与関係費	62,209	64,162	63,452	△710
物件費	15,323	49,249	49,087	△163
維持補修費	60,001	39,414	39,426	12
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	2,156	2,110	4,462	2,352
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	3,269	1,206	453	△753
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	4,677	5,285	5,376	91
退職手当引当金繰入額	3,480	10,062	4,344	△5,718
支払利息	35	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	151,151	171,488	166,599	△4,889
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△145,573	38,158	△160,768	△198,926
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	18,856	146,771	-	△146,771
特別収入 小計(d)	18,856	146,771	-	△146,771
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	18,856	146,771	-	△146,771
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△126,717	184,929	△160,768	△345,697
一般財源充当額	128,416	161,242	162,049	808
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	1,699	346,171	1,281	△344,889

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	施設管理委託料、システム保守委託料、その他委託料 11,297千円 水路・排水管等改良に伴う設計委託料11,258千円
維持補修費	工事請負費 39,426千円
負担金・補助金・交付金等	淀川右岸水防事務組合分担金 901千円 淀川右岸治水促進期成同盟負担金 84千円 大阪府河川協会会費 70千円 安威川ダムに係る水特法12条負担金 1,581千円 千里山排水管渠改築工事に伴う移設補償 1,826千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	5,578	5,399	5,377	△22
行政サービス活動支出	149,820	166,641	167,426	785
行政サービス活動収支差額	△144,242	△161,242	△162,049	△807
投資活動収入	18,856	0	-	△0
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	18,856	0	-	△0
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	3,030	-	-	-
財務活動収支差額	△3,030	-	-	-
収支差額 合計	△128,416	△161,242	△162,049	△808
一般財源充当額	128,416	161,242	162,049	808
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	
--------------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
水路1m当たりにかかる水路維持費	平成26年度	11,880.25 m	12,722.90 円	経常費用全体では減となっているが、実績延長の減少の為コスト増となっている。
	平成27年度	11,633.10 m	14,741.38 円	
	平成28年度	10,758.35 m	15,485.55 円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,285	5,376	91
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,285	5,376	91
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	2,229,950	2,229,497	△453	その他流動負債	-	-	-
土地	2,219,540	2,219,540	-	固定負債	62,174	60,803	△1,371
建物・工作物	10,410	9,958	△453	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	62,174	60,803	△1,371
無形固定資産	34,094	34,547	454	リース債務	-	-	-
有形固定資産	1,187,626	1,186,479	△1,147	その他固定負債	-	-	-
土地	1,187,626	1,186,479	△1,147	負債の部合計	67,460	66,180	△1,280
建物・工作物	0	0	-	純資産	3,384,209	3,384,344	135
建設仮勘定	-	-	-	地方債	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期借入金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	退職手当引当金	62,174	60,803	△1,371
投資その他の資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
出資金	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	3,451,669	3,450,524	△1,146
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	3,451,669	3,450,524	△1,146				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

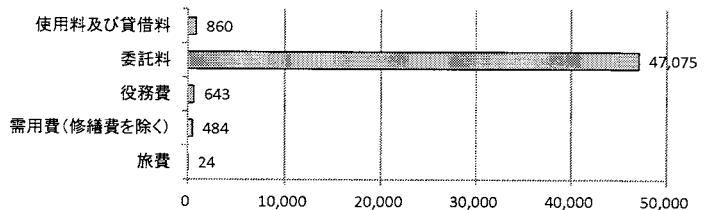
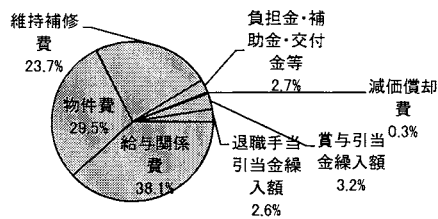
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	8.7人	人	日	人	
給与関係費等	73,172千円	千円	千円	千円	73,172
内、時間外勤務手当	1,353千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
インフラ資産 土地	道路室へ所管換えのため(岸部南2丁目3筆)

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	水路等
取得年月日	
建物・工作物の取得価額	59,450 千円
建物・工作物の減価償却累計額	49,492 千円
利用料金収入	5,044 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		100.9	66.3	66.3	0.0
施設老朽化比率		80.5	82.5	83.3	0.8
受益者負担比率		3.5	3.0	3.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		84.0	96.8	96.8	0.0
経常費用対公共資産比率		254.2	288.5	280.2	△ 8.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費63,452千円(38.1%)、物件費49,087千円(29.5%)、維持補修費39,426千円(23.7%)となっています。物件費の内訳としては、施設管理委託料、システム保守委託料、その他委託料(水路等調査業務他)として11,297千円、水路・排水管等改良に伴う設計委託料として11,258千円、糸田川河川清掃として594千円ほかです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

水路等の機能を確保するため必要な清掃や調査等を行っています。これらの維持管理は、市民の安全と快適な都市環境の確保のためには必要な事業であると考えています。

また、水路・排水管渠の点検による不良箇所の改築は、状況や大きさにより改築費用が異なるため、費用対効果を比較するのは困難ですが、点検を行い、不良箇所が拡大する前に速やかに改築を行っていく必要があると考えています。